沼 津 工 業 高 等 専 門 学 校 動 物 実 験 計 画 書

沼津工業高等専門学校動物実験委員長　殿

以下の内容の動物実験について実施計画を提出いたします。

|  |
| --- |
| 提出年月日：平成　　年　　月　　日 |

受付年月日：平成　　年　　月　　日

受付番号【　　　　　　　　　　】

（記入上の注意：以下、枠の中のみ記入してください。この計画書は、動物実験実施の都度提出して

ください。実験実施後は、速やかに報告書を提出してください。）

|  |
| --- |
| 研究テーマ： |
| 研究概要（研究の目的、意義、必要性等）： |
| 計画書作成・提出者：所属（　　　　　　）職名（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済 |
| 共同実験者：１．所属（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済２．所属（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済３．所属（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済４．所属（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済５．所属（　　　　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　）教育訓練　□未　□済 |
| 実験実施期間：　　　　　　　　承認後　～　平成　　　　年　　　　月 |
| 使用施設：　　動物飼育室及び基礎生物工学実験棟以外の場合のみ、　　　場所（　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 使用する動物：　動物種（　　　　　　　）系統（　　　　　　）性別（　　　　）匹数（　　　）週齢（　　　）　微生物学的品質（　　　　　　　　　　）入手先（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 動物実験を必要とする理由：□　検討したが，動物実験に替わる手段がなかった。□　検討した代替手段の精度が不十分だった。□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 想定される苦痛のカテゴリー：　SCAWのカテゴリー　□A　　□B　　□C　　□D　　□E　 |
| 動物の苦痛軽減，排除の方法：□　短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。□　麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。□　動物が耐えがたい痛みを伴う場合適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  |
| 安楽死の方法：□　麻酔薬等の使用□　中枢破壊 □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 動物死体の処理方法：　　三島函南広域行政組合「三島聖苑」に依頼する以外の場合のみ　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他： |

以下、委員会記入

審査終了：平成 年 月　 日

修正意見等：

審査結果：　□本実験計画は，沼津工業高等専門学校の動物実験指針等に適合する。

　　　　　　　□本実験計画は，沼津工業高等専門学校の動物実験指針等に適合しない。

委員長承認欄：承認: 平成 年 月　 日

 本実験計画を承認します。

　　　　　　　　承認番号：第　　　　　　　　　　　　号

 　　　　　　　　　動物実験委員長